



感染性胃腸炎の発生報告相次ぐ！！

管内では今月に入ってからノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生を疑う報告が相次いでいます。冬場の胃腸炎症状はノロウイルスによる感染性胃腸炎を疑い、拡大防止対策に努めてください。

施設の感染対策委員および責任者の方は、施設内で感染予防対策がとられているか、改めて現場を確認してください。

【主な症状】

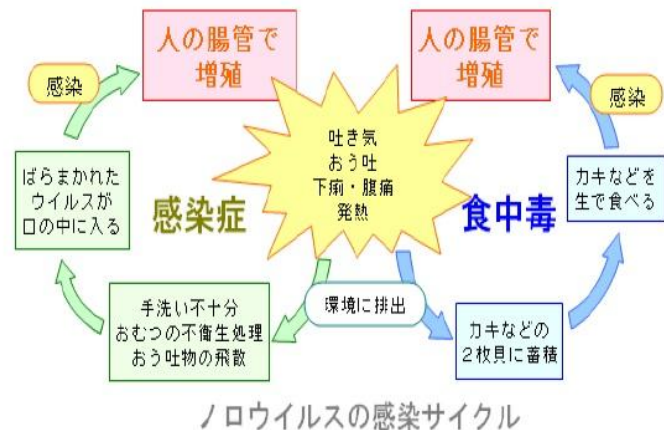
- ・下痢、吐き気、おう吐、腹痛、発熱など
- ・潜伏期：24～48時間
- ・通常は3日以内に回復するが、ウイルスは感染してから1週間程度便中に排泄される。
- ・症状が見られる方がいたら、すぐに医療機関での受診を勧めてください。

【感染経路】

- ・汚染された食品による経口感染
- ・感染した人との接触感染（便や嘔吐物など）

【消毒方法】

- ・他の微生物より熱に強いので、中心温度85℃で1分以上の加熱をしてください。
- ・逆性せっけん、アルコールでは消毒効果が十分ではありません。必ず、**次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）**で調理器具やドアノブ、手すりなどよく手が触れる場所を消毒してください。



小児は特にご注意ください！

小児においては必ずしも軽症で治癒するとは限りません。激しい下痢による脱水症が起こりやすく、けいれん・脳炎・脳症など重症化するおそれもあります。

感染源を作らない！

症状を持ったまま学校、保育所等に登校（登園）させることにより、その子どもが感染源となって周囲の子ども達に感染が広がり、その子どもが家庭に持ち帰り、地域内で感染が拡大していくこととなります。症状のある子どもは早めに医療機関での受診を勧めてください。

【参考】

厚生労働省ホームページ（ノロウイルスに関するQ & A）
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

【発信者】

若狭健康福祉センター
 地域保健課 宮下
 TEL：0770-52-1300
 FAX：0770-52-1058